

寺報

No.650

令和3年10月

蓮華寺
發行

御聖訓

うれしきにもなみだ、つらきにもなみだなり。涙は善悪に通ずるものなり。

『諸法実相鈔』



(解説)

日蓮大聖人は『竜ノ口法難』に遭われた時、実際には奇跡的に助かったにもかかわらず「日蓮といひし者竜ノ口にて首をはねられぬ」として、一僧侶としての日蓮は、既にこの地で死んだと明言していません。

しかし、その魂は佐渡の地にてよみがえり、新たに法華経の行者・日蓮として生まれ変わったと宣言したのであります。

これは、これまでにあらゆる困難にもひるまず、法華経を命がけで広めてきた事が、間違ひなかつたという証明が出来たからなのです。

そして、時空を越え、久遠の本師・釈迦牟尼仏から末法の我々の為に、法華経・お題目を広めよとの使命を授けられたと確信したのでした。

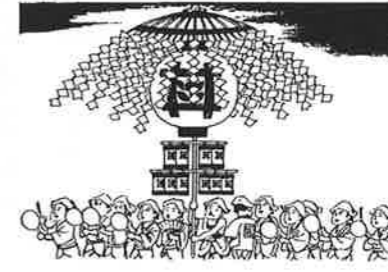
このつらき涙とは、自らの前世の因縁により、極寒の佐渡に流され、艱難辛苦を忍びながら流した涙をいい、うれしき涙とは、自らの成仏が保証され、日蓮のみがこの世で唯一人、特別の相承を受ける事が出来たという感激の涙をいいます。

御会式

十月二十四日(日)

午後一時より

※法要終了後、ご法話あり



昨年好評の『大平上人』が今年もお話をします。

- * 本年は、第七百四十回目のご法事に当ります。檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へ御報恩の誠を尽しましょう。
- * お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。
- * 先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。
- * お供物も受付けています。
- * 法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

『御会式』に参拝しよう!

『御会式』は毎年執り行われます日蓮大聖人のご命日忌法要でありまして、皆様の家庭でいうご法事の事をいいます。

皆様はご自分の家の法事はしっかり行いますが、その基となります日蓮大聖人のご法事となりますと、法要に参列する方は多いといえませんが、

しかし、皆様のご先祖や仏様は、日蓮大聖人の唱えられましたお題目によって成仏されているという事を忘れてはいけません。

もし大聖人がお出ででなかったら、当然お題目を唱える者もなく、ご先祖や仏様も成仏出来ず、また皆様をお救いするご祈祷や霊断やお守りも、一切存在しなかつたわけです。

皆様も、今一度『御報恩』というものを考えてみてはいかがでしょうか。

どうか、この大事な『御会式』の法要には、必ず参拝し、日蓮大聖人様にご焼香し、法華経・お題目を唱えて戴きたいと思えます。

「御会式」

弘安五年(一二八二)十月十三日の午前八時、数々の迫害にもめげず、我々に法華経・お題目の信仰を教えてくれました日蓮大聖人は、東京は池上の地で六十年のご生涯をもって御入滅されました。

そして翌十四日はご葬儀、十五日には池上で荼毘(火葬)に付され、大聖人の「いづくにて死に候とも、墓をば身延沢にせさせ候べく候」のご遺命により、お骨は百ヶ日忌の日に身延山へ納骨されました。

これ以来、毎年大聖人のご命日忌には、弟子や信者達が法要を営み、ご報恩の誠を捧げてきました。そのご命日忌に行われます法要を『御会式』と呼ぶのです。

本来は、仏教各宗派の読経・説法の集まりをいう「法会の儀式」を『会式』といい、それに敬語の「御」を付け『御会式』としたのであります。

つまり、昔は特に日蓮宗に限って用いられた言葉ではなかつたのですが、大聖人の数々の偉業、偉大さまたご人徳により、大聖人の『御会式』の法要だけが有名になり、他の宗派のものは影をひそめてしまい、「お

会式といえれば日蓮大聖人の御命日である」といわれるまでになつたのです。

特に亡くなられた地に建立されました、東京池上【本門寺】の『御会式』は有名で、前日のお逮夜に大きな万灯という花飾りをかつき、笛で調子を取りカネ・太鼓を叩く万灯行列が出ます。

これには交通規制がかかる程の盛況ぶりとなります。なぜならこのお逮夜には、毎年全国より青森市の人口を越える程の参詣者が集まるからです。

ですから、近隣の他宗の方などは、この余りの賑やかさに、これが大聖人のご法事とは知らないで、逆にお祝いごとだと思っている人達も沢山いるそうです。

しかし、昨年はコロナウイルス感染拡大のおかげで一部の人達しかお参り出来ない状態となりました。今年も危うい状況です。

でも、我々は毎年変わる事なく、日蓮大聖人への感謝と、またご報恩の誠を尽くして、この『御会式』の法要を続けていく事が大切なのではないのでしょうか。

大切なお題目受持

檀信徒研修会のお知らせ

☆十月三十日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(イス席です)

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

⑨研修会は休まず行いますので、ご参加は各自ご自由に健康管理のもとご参加下さい。

蓮華寺

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー 《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

一部・・・五〇〇円

◎令和四年度「暦」

一部・・・一五〇円

☆靈断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

靈断と『靈』の字がありますが、靈を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】必ずご予約をお願いします。

☎776-5840

竜ノ口御法難会

十月十三日(水)

午後一時より

於：大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ(お萩)・春はボタモチ(牡丹餅)といわれています。

⑩『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、三年以上ご使用の方に、上位で空いています『位牌壇』を数がある限り無料でお譲りしています。

◎詳細は事務所まで!

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈祷を行っています。
 『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、
 ◎七歳・平成二十七年生れの女兒
 ◎五歳・平成二十九年生れの男児
 ◎三歳・令和元年（平成三十一年）生れの女兒
 となりますが、ご家庭の事情により「満年齢」でも構
 いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、
 日蓮宗のご祈祷をお受け下さい。
 なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干
 支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますので
 どうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致し
 ます。

※用意する物・御神酒一升（ご本人の名前を書く）



『提灯』の募集！

当山で「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」の際に
 掲揚します『提灯』（トローラー）を募集致します。
 作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となります
 ので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会
 員の『家内安全』をご祈願致します。
 その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする聖徒
 タイムズ・寺報等の援助などに活用します。
 会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

『靈神符』を持ちましょう！

最近では思いもよらぬ事故が多発し、特に子供さんが
 悲惨な事故に会われています。
 皆様も「私は大丈夫」という考えはお止めになり、素
 直に毎月のお守り【靈神符】をお持ちになる様にお願
 いします。



十月の行事

一日（金）『盛運祈願会』 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【靈神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。
- ・ 檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十三日（水）『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
- ・ 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）
- ・ 日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。

十三日（水）『竜ノ口御法難会』 午後一時より

二十日（水）『妙見小祭』 朝のお勤め中

二十四日（日）『御会式』 午後一時より

三十日（土）『檀信徒研修会』 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

十九日（火）『御会式』の準備・・・午前九時より

- ・ 一般檀信徒の皆様・教宣部男女部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。
- ・ 『御会式』の際、大本堂に飾る桜の花は、毎年教宣部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。
- ・ どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様への御報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。
- ・ 大本堂の幕、ノボリ、ちょうちん、祭壇等の準備

二十四日（日）『御会式』のお手伝い

- ・ 教宣部男女・・・午前十時より
- ・ 教宣部男女・・・午前十時より

二十五日（月）『御会式』の後片付け

- ・ 大本堂の幕、ノボリ、ちょうちん、祭壇等の後片付け
- ・ 『御会式』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。
 教宣部員以外の方も歓迎致します。

- ◎奉仕部長・山田兼補◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

お え しき
御 会 式

*法 要

十月二十四日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

講師：日蓮宗靈断師会・指導局事業部長
広島市・龍華寺住職

大平 貫脩 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香致しましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養
【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。